

Web から拾った健康のお話(コロナ編②)

ご存じでしたか？ ブルッキングス研究所の恐るべき報告書！

うめは咲いたか？ さくらはまだかいな…?!

コロナ禍の二度目の緊急事態宣言の延長で、やりたいことを心の中にしまい込みながらの今年のさくらめぐりもさびしく個別となるようです。

こんな中、我が 60 代~80 代(パソコン仲間)のおばさまたちが、ネットでコロナ禍による死者数の凄い驚きの情報を見つけてくれました。ひとり一人がガイドラインをちゃんと守って早く普段の生活に戻れるよう願うばかりです。



ご存じの方もいると思いますが、次のデータをご覧ください。

「新型コロナで死亡する 日本人は 57 万人」、 米著名シンクタンク(ブルッキングス研究所)の報告書の中身

飯塚真紀子 在米ジャーナリスト 津山恵子 [ジャーナリスト]

2020/3/6 (金) 8:02



適切な経済的判断がなされなければ、世界では最大 6,800 万人が死亡？ (写真:ロイター/アフロ)

新型コロナウイルスで死亡する
(2020/3/6 (金) 8:02 時点の予想)

日本人は、最悪のシナリオでは 57 万人死亡。

世界では、最悪のシナリオでは 6,800 万人(別の提言では 9,600 万人)が死亡 と予想。

そんな恐るべき数字を伝えている。

報告書「[COVID-19 が世界のマクロ経済へ与えるインパクト：7つのシナリオ](#)」が、3月2日(米国時間)、米の著名シンクタンク「ブルッキングス研究所」のウェブサイトに掲載。(青線をクリックすると原文が表示されます。)

この**ブルッキングス**の報告書が出た後に、**オーストラリア国立大学**教授の
ワーウィック・マッキビン氏 と
ローシェン・フェルナンド氏。

両氏は、**新型コロナ**による病気や死亡のため各国で

減少する労働者数、
消費者の商品嗜好の変化、
製造網が受ける障害によるビジネスコストの上昇 など

世界経済に与える経済的ショックを分析、
新型肺炎がパンデミックとなった場合に、
適切な経済的判断が行われないと起こりうる 7 つのシナリオ を 紹介している。



この報告書では、**7 つ**の中の、**最善**と**最悪**のシナリオは以下の通り。

最善のシナリオでも、世界の **GDP は 2.4 兆ドル** (約 **254 兆円**) も失われ、
最悪のシナリオでは、世界の **GDP は 9 兆ドル** (約 **954 兆円**) も失われるという。

報告書には、**7 つ**のシナリオの下で、「**国々の人口数に与えるインパクト**」も分析されている。
これらのシナリオの数値を別途リストにしたものを。

それによると、**世界全体で予想される死亡者数は**、
最善のシナリオで約 **1,500 万人**が、
最悪のシナリオで、**6,800 万人**が死亡するという。
うち**中国**では、
最善のシナリオで **279 万 4,000 人**、
最悪のシナリオで **1,257 万 3,000 人**が死亡すると推定されている。



国別の推定死亡者数も下記のように表化されており、**日本**は、

最善のシナリオで、**12 万 7000 人**
最悪のシナリオで、**57 万人** となっている。

米国の場合は、

最善のシナリオで **23 万 6,000 人**、
最悪のシナリオで **106 万人**だ。

米では毎年、**インフルエンザ**で約 **5 万 5,000 人**が亡くなっておりそれを**はるかに超える数**となる。

韓国は、

最善のシナリオで **6 万 1,000 人**、
最悪のシナリオで **27 万 2,000 人**、

伊の場合は、

最善のシナリオで **5 万 9,000 人**、
最悪のシナリオで **26 万 5,000 人**と、日本より推定死亡者数が少ない。

Table 9 – Impact on populations under each scenario

Country/Region	Population (Thousands)	Mortality in First Year (Thousands)						
		S01	S02	S03	S04	S05	S06	S07
Argentina	43,418	-	-	-	50	126	226	50
Australia	23,800	-	-	-	21	53	96	21
Brazil	205,962	-	-	-	257	641	1,154	257
Canada	35,950	-	-	-	30	74	133	30
China	1,397,029	279	3,493	12,573	2,794	6,985	12,573	2,794
France	64,457	-	-	-	60	149	268	60
Germany	81,708	-	-	-	79	198	357	79
India	1,309,054	-	-	-	3,693	9,232	16,617	3,693
Indonesia	258,162	-	-	-	647	1,616	2,909	647
Italy	59,504	-	-	-	59	147	265	59
Japan	127,975	-	-	-	127	317	570	127
Mexico	125,891	-	-	-	184	460	828	184
Republic of Korea	50,594	-	-	-	61	151	272	61
Russia	143,888	-	-	-	186	465	837	186
Saudi Arabia	31,557	-	-	-	29	71	128	29
South Africa	55,291	-	-	-	75	187	337	75
Turkey	78,271	-	-	-	116	290	522	116
United Kingdom	65,397	-	-	-	64	161	290	64
United States of America	319,929	-	-	-	236	589	1,060	236
Other Asia	330,935	-	-	-	530	1,324	2,384	530
Other oil producing countries	517,452	-	-	-	774	1,936	3,485	774
Rest of Euro Zone	117,427	-	-	-	106	265	478	106
Rest of OECD	33,954	-	-	-	27	67	121	27
Rest of the World	2,505,604	-	-	-	4,986	12,464	22,435	4,986
Total	7,983,209	279	3,493	12,573	15,188	37,971	68,347	15,188

様々なシナリオ下での各国の死亡者数が推定されている。

出典：The Global Macroeconomic Impacts of COVID-19: Seven Scenarios

また、新型コロナウイルスによる**死亡率**も紹介されており、
日本は、**最善**のシナリオで**0.1%**、**最悪**のシナリオでは**0.45%**。
伊国は、**最善 0.1%**、**最悪 0.45%**で、
韓国は、**最善 0.12%**、**最悪 0.54%**、



米国は、最善 0.07%、最悪 0.33% と分析されている。

死亡率は、中国と比べた場合、米国は経済先進国ではずっと低い数値となっている。(なぜ?)

Appendix B: Additional results

Table B-112 - Mortality Rates for each Country under each Scenario

Country/Region	Mortality Rate						
	S01	S02	S03	S04	S05	S06	S07
Argentina	-	-	-	0.12%	0.29%	0.52%	0.12%
Australia	-	-	-	0.09%	0.22%	0.40%	0.09%
Brazil	-	-	-	0.12%	0.31%	0.56%	0.12%
Canada	-	-	-	0.08%	0.21%	0.37%	0.08%
China	0.02%	0.25%	0.90%	0.20%	0.50%	0.90%	0.20%
France	-	-	-	0.09%	0.23%	0.42%	0.09%
Germany	-	-	-	0.10%	0.24%	0.44%	0.10%
India	-	-	-	0.28%	0.71%	1.27%	0.28%
Indonesia	-	-	-	0.25%	0.63%	1.13%	0.25%
Italy	-	-	-	0.10%	0.25%	0.45%	0.10%
Japan	-	-	-	0.10%	0.25%	0.45%	0.10%
Mexico	-	-	-	0.15%	0.37%	0.66%	0.15%
Republic of Korea	-	-	-	0.12%	0.30%	0.54%	0.12%
Russia	-	-	-	0.13%	0.32%	0.58%	0.13%
Saudi Arabia	-	-	-	0.09%	0.23%	0.41%	0.09%
South Africa	-	-	-	0.14%	0.34%	0.61%	0.14%
Turkey	-	-	-	0.15%	0.37%	0.67%	0.15%
United Kingdom	-	-	-	0.10%	0.25%	0.44%	0.10%
United States of America	-	-	-	0.07%	0.18%	0.33%	0.07%
Other Asia	-	-	-	0.16%	0.40%	0.72%	0.16%
Other oil producing countries	-	-	-	0.15%	0.37%	0.67%	0.15%
Rest of Euro Zone	-	-	-	0.09%	0.23%	0.41%	0.09%
Rest of OECD	-	-	-	0.08%	0.20%	0.36%	0.08%
Rest of the World	-	-	-	0.20%	0.50%	0.90%	0.20%

様々なシナリオ下での各国の死亡率。出典：The Global Macroeconomic Impacts of COVID-19: Seven Scenarios

今(2020年3月2日)のところ、WHO(世界保健機関)は「パンデミック宣言」をしていないが、マッキン教授は、「この報告書の執筆時点(2020年3月2日)では、これらのシナリオが起きる確率は非常に不確かだが、新型肺炎が世界的パンデミックとなった場合、それにより生じる損失が急速に増大することを分析結果は示唆している」と警告。

また、マッキン教授はこの報告書で、パンデミックで損失が増大しないよう、政治家が適切な政策を行なう必要性を訴えているが、

短期的政策として

- ① 「感染爆発が続いても中央銀行と財務省が経済を確実に機能させ続ける、
- ② ローコストな衛生習慣を広く普及すること、感染を低減すべく効果的対応すること」を提案。

長期的には、

- ① 各国が自国の健康福祉制度に投資し、また、
- ② 世界が協力して公衆衛生に投資する重要性も訴えている。
「富裕国は公衆衛生に莫大な投資をする必要性があるが、特に、人口密度の高い貧しい国々に投資する必要がある」としている。

新型肺炎が世界的パンデミックになるのはもはや時間の問題となる中、
日本政府も公衆衛生分野における 投資や開発に、あらためて、目を向ける必要があるのでは…。

新型コロナ治療最前線の教授(ネブラスカ大学医療センターのローラー教授)

ネブラスカ大学医療センターは、中国や「ダイヤモンド・プリンセス号」で感染したアメリカ人感染者が搬送されて治療を受けている施設。また、新型コロナの治療薬として期待されているエボラ出血熱の治療薬「レムデシビル」の有効性と安全性を立証するための臨床試験が行われていることでも注目されている。

アメリカ最悪のシナリオ

感染症研究の第一人者と言えるローラー博士は、**2020年2月26日**、アメリカ病院協会主催のオンラインセミナーで、“アメリカ最悪のシナリオ”を紹介していた。

博士はそのセミナーで

「医療のリーダーたちが知っておくべきこと：

COVID-19に対する準備」と題するプレゼンテーションを行い、衝撃の数字を発表していたのだ。その数字が出ているドキュメントをビジネス・インサイダーが入手し紹介している。

その数字とは、**米国内**で新型コロナに感染数は推定 **9,600** 万人、死亡する人数は推定 **48** 万人。ちなみに、オーストラリア国立大学のマッキビン教授が分析したアメリカにおける推定死亡者数は、最善のシナリオで **23** 万 **6000** 人、最悪のシナリオで **106** 万人だ。

マッキビン教授が分析のために想定した 7 つのシナリオの1つでは、**58** 万 **9,000** 人の死亡者数も推定されているので、ローラー博士の推定は、この数字に近いといえる。

また、そのドキュメントによると、**高齢者**は新型コロナで**重症化**し、

80歳以上の人は、死亡率が **14%**になるという。

70~79歳の死亡率は **8%**、

60~69歳の死亡率は **3.6%**と推定されている。



また、心臓に問題を抱えている人の死亡率は 10%、持病を抱えていない人の死亡率は 1%と推定している。ちなみに 1% というのは、季節性インフルエンザの死亡率約 0.1% の 10 倍である。そのため、「季節性インフルエンザの約 10 倍重い疾病に対する準備をしよう」と呼びかけている。

病院は増える感染者対策を

アメリカ病院協会(CDC)は「オンラインセミナーは、病院側の見解ではなく、スピーチする専門家の見解を反映したものだ」と、ローラー博士の報告に対して客観的な見方をしているが、博士が報告した推定は、マッキビン教授が報告した推定に近いことは注目に値すると思う。

ローラー博士は、病院がこれから増加する感染者に対応する準備を行って死者数を抑える必要性を感じ、推定した数字を報告したという。

日本の病院も、検査件数の増加とともに増える感染者数に対する準備が急務だ。



飯塚真紀子 在米ジャーナリスト

大分県生まれ。早稲田大学教育学部英語英文科卒業。出版社にて編集記者を務めた後、渡米。ロサンゼルスを拠点に、政治、経済、社会問題、トレンドなどをテーマに、様々な雑誌に寄稿。



津山恵子 ジャーナリスト、フォトグラファー

ニューヨーク在住ジャーナリスト。「アエラ」「ビジネスインサイダー・ジャパン」などに、米社会、経済について幅広く執筆。近著は「教育超格差大国アメリカ」(扶桑社 amzn.to/1qpCAWj)、など。2014 年より海外に住み長崎からの平和のメッセージを伝える長崎平和特派員。元共同通信社記者。

(参考記事)

[Coronavirus crisis: COVID-19 could kill 96,000 Australians and 68 million people worldwide, says report](#)

[Report suggests up to 96,000 Aussies could die in coronavirus global pandemic](#)

なお、下記項目をご覧ください。昭和シェル社友会 HP では、

[新型コロナウイルス感染 世界マップ: 日本経済新聞](#)

(日本経済新聞社提供)」を UP して、ご覧いただけるよう準備されています。

安全・安心のページ

👉 (昭和シェル社友会 HP の **TOP ページ**左にあります)

また、コロナ関連で興味がありそうな情報をご参考までに下記に記します。

線の上を、**Ctrl key** を押しながらクリックしてご覧ください。

① [海外「生まれる国を間違えた」日本のコロナワクチン接種後の補償が凄すぎると話題に 21/03/10](http://kaigainohannoublog.blog55.fc2.com/blog-entry-3742.html)
<http://kaigainohannoublog.blog55.fc2.com/blog-entry-3742.html>

② [【TED】衝撃映像!! コロナは5年前にビルゲイツに予言されていた。次の感染症は? 私たちはまだその準備が出来ていない。【日本語吹替】#コロナ#ビルゲイツ#TED - YouTube](#) 2015/5/8

③ [コロナ・ワクチン戦争で日本は世界で負け組になってしまった](#) (歴史家・評論家 八幡和郎) 21/ 2/25

③ [日本はなぜワクチン開発で遅れたのか 医療関係者が指摘する「国の責任」とは](#) 21/02/21

④ [伝染病の拡大阻止した 125 年前の「大規模検疫」 偉人・後藤 新平](#) 20/3/7

⑤ [「1 億人死亡」100 年前のスペインかぜの教訓を生かせる国](#) 20/05/02

(了)

参考文献：各記事毎に記載しています。

2021/03/12

文責 本間悠三